

Ⅱ. 地域別構想

<地域別構想の目的等>

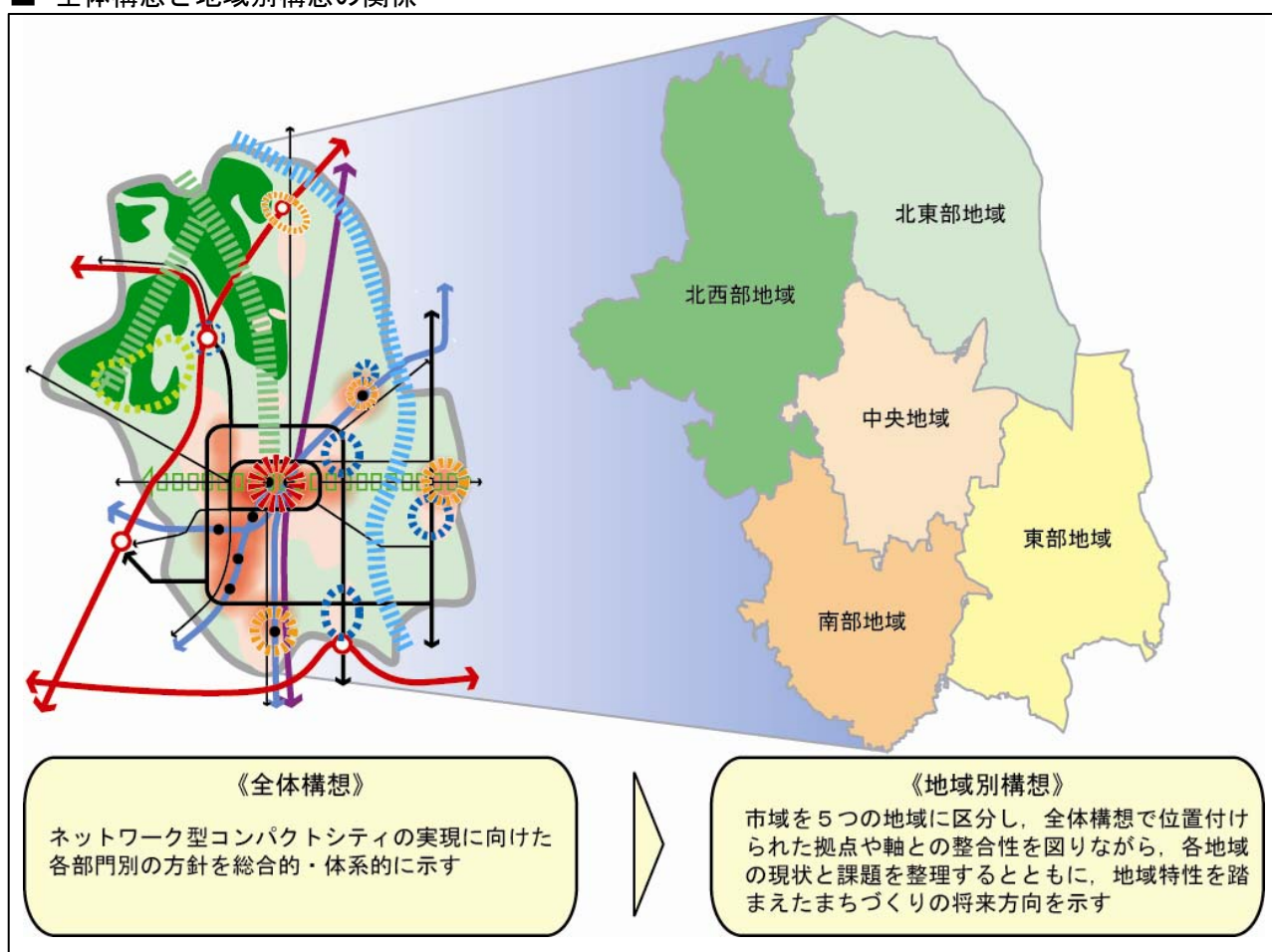
全体構想では、ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた部門別の方針を総合的・体系的に示しました。

本市が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」は、中心市街地を核として全市的なバランスに配慮しつつ、都市機能の集積している既存の拠点を有効に活用し、拠点間における機能連携・補完など、「ネットワーク化」(連携)を目指しています。

この「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けて、具体的な取組を進めるためには、地域ごとの様々な取り組みが必要となります。

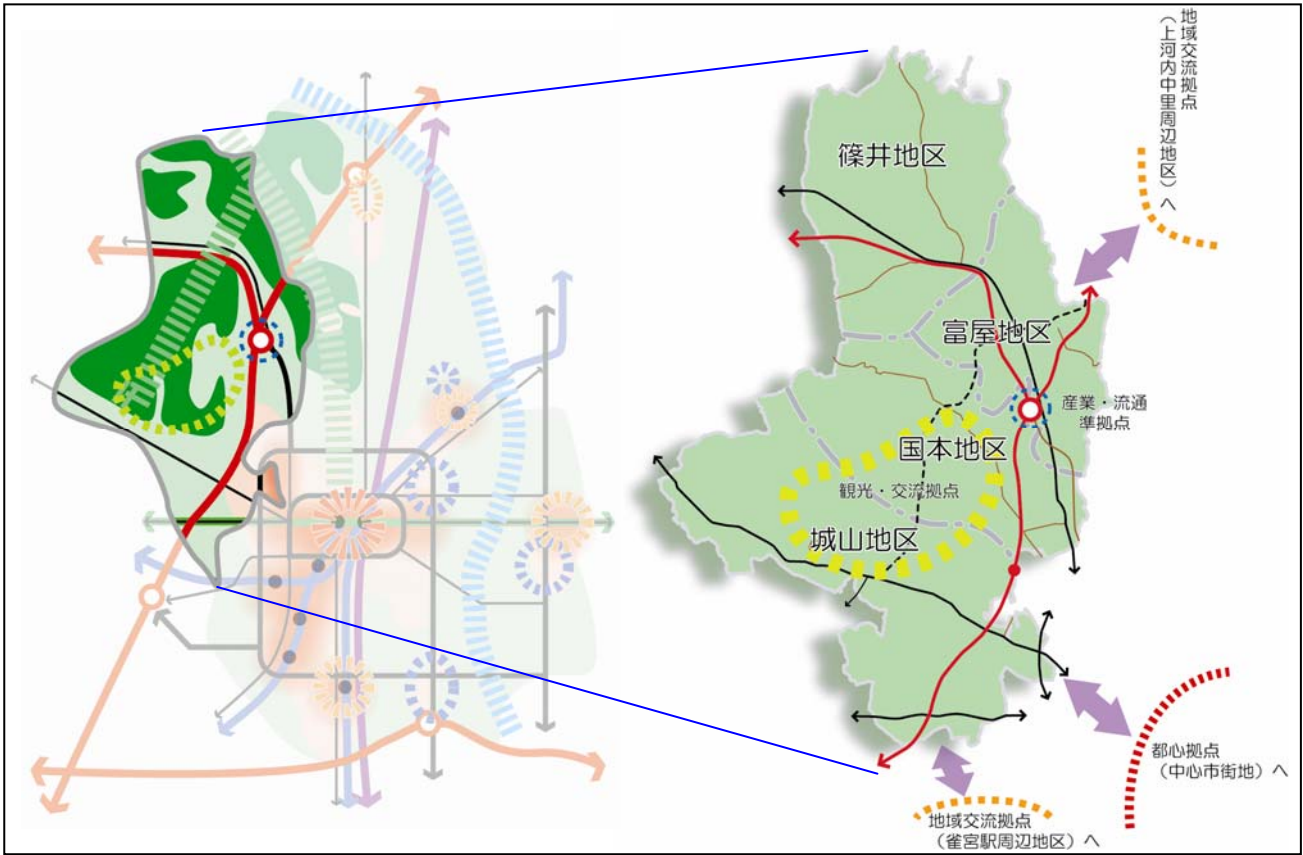
地域別構想では、本市の都市の成り立ち、地域の土地利用や特色を踏まえ、市域を5つの地域に区分し、全体構想で位置付けられた拠点や軸との整合性を図りながら、各地域の現状と課題を整理するとともに、地域特性を踏まえた将来のまちづくりの方向を示すものとして策定します。

■ 全体構想と地域別構想の関係

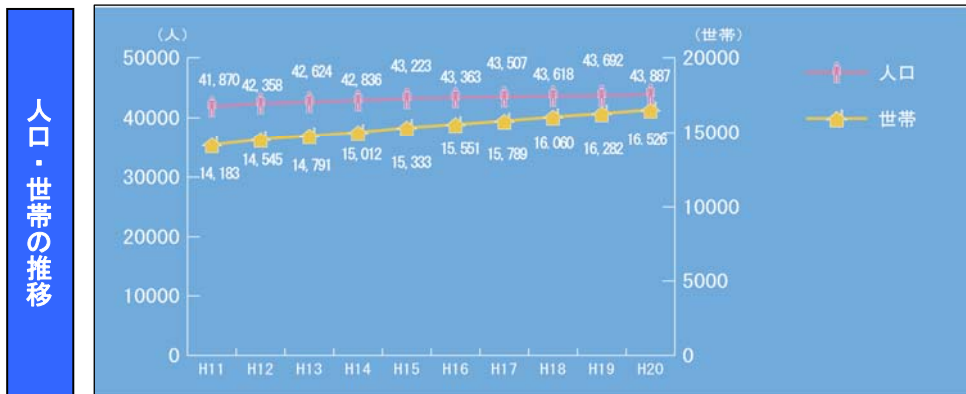


北西部地域

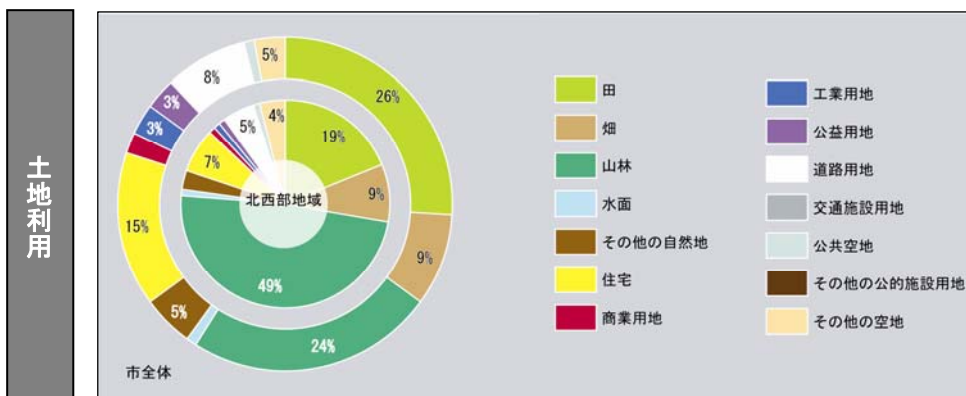
■将来都市構造における北西部地域の位置



■主要データ



出典：住民基本台帳（各年9月末日現在の値）



出典：平成18年都市計画基礎調査

1. 現状と課題

- ・本地域は、北部丘陵の豊かな自然をはじめ、農地・山林が多く、自然岩による独特の自然景観をもつ大谷地区、歴史と自然が魅力となっている多気地区、アウトドア施設等の自然体験機能が充実している古賀志地区、自然とのふれあいや体験活動等のレクリエーション拠点となっている平成記念子供のもり公園など豊かな自然環境や観光・交流資源に恵まれています。
- ・これらの観光・交流資源を活かした地域の活性化を図る上では、資源の保全・整備を図るとともに、その有効活用にあたっては、点在する資源の有機的な連携や体験型・参加型観光など、近年の観光ニーズの変化に対応していくことが課題となっています。
- ・地域の基幹産業である農林業は、観光農業や「宇都宮市農林公園ろまんちっく村」での直売など、都市と農村の交流による活性化の取組が行われていますが、引続き農林業の基盤となる優良な農地・森林などを適切に保全していく必要があり、これを支える定住環境の維持についても課題となっています。
- ・公共交通である路線バスは、都心地区から放射状に伸びる国県道に路線網が形成されていますが、集落が点在していることから、利用可能な圏域が限られており、今後の高齢化の進行に対応した地域内交通の確保が課題となっています。
- ・東北自動車道宇都宮インターチェンジ周辺では、広域交通の結節機能を活かした土地利用が求められています。

2. 地域整備の将来イメージ

「豊かな自然環境に恵まれたふれあい・交流空間づくり」

地域の特色である観光・交流資源の充実や、観光と農林業の連携強化により、都市と農村の交流を中心とした地域の活性化を図るとともに、豊かな自然などの地域資源を次世代に引き継げるよう、定住環境を維持しながら、適切な整備・保全を図ります。

3. 地域整備の主要方針

(1) 大谷公園周辺地域を核とした観光・交流拠点の形成

大谷公園周辺地域を核として、地域の歴史・文化、自然景観、農産物などの資源を活かした体験型・参加型観光の促進や、北西部地域に分布する地域資源との連携による周遊活動を促進し、魅力ある観光・交流拠点の形成を図ります。

(2) 宇都宮インターチェンジを活かした産業・流通機能の誘導

東北自動車道宇都宮インターチェンジ周辺は、広域交通の利便性を活かし、新たな流通業務機能等の立地需要に対応できるよう、周辺の良好な自然環境の保全に配慮しながら、計画的な土地利用の誘導に努めます。

(3) 貴重な自然環境・景観の保全・活用

本市にとって緑の大きな骨格であるとともに、自然と身近にふれあうことができる地域資源である北部丘陵の豊かな自然環境とうるおいある自然景観は、森林の適正な維持管理や環境と調和した活用により保全・継承を図ります。

(4) 豊かな田園空間を活かした定住環境の維持

集落地においては、地域の生活を支える道路など生活環境施設の充実、地域住民と行政等との協働による地域内交通の確保などにより、定住環境の維持に努めます。また、豊かな田園をはじめとする農業地は、安定的な生産を確保するため、その保全を図ります。

4. 分野別の地域整備方針

(1) 土地利用の方針

- ・産業・流通準拠点である東北自動車道宇都宮インターチェンジ周辺は、良好な自然環境の保全に配慮しながら、広域交通の利便性の立地特性を活かした流通業務機能や生産機能のほか、中長期的な観点も含め、新たな産業ニーズや地域振興に資する交流機能の配置など、計画的な土地利用を図ります。
- ・田川、姿川流域の農業地は、その維持・保全を図るとともに、良好な営農環境の維持に努め、集落地では、集落性や土地基盤整備の進捗など地域の状況を踏まえながら、生活道路など生活環境施設の充実を進め、定住環境の維持に努めます。
- ・県立自然公園をはじめとする森林地では、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、自然を活かしたレクリエーション空間としての活用を図ります。
- ・地域南部の市街地では、主にゆとりある良好な低層住宅地の形成のほか、幹線道路の沿道では、住宅と住宅以外の用途が調和した住宅地の形成など市街地環境の向上を図ります。

(2) 交通体系の整備方針

- ・都市計画道路の整備をはじめ、観光・交流拠点である大谷公園周辺地域に広く点在する地域資源との連携など、地域の道路ネットワークの強化を図ります。
- ・広域連携交流軸である東北自動車道の利便性の向上や地域の振興を図るため、スマートインターチェンジの設置を検討します。
- ・拠点間を連絡するバス路線のサービス水準の維持・向上に努めるとともに、地域の日常生活を支える地域内交通や観光振興との連携も視野に入れた交通手段の導入を検討します。

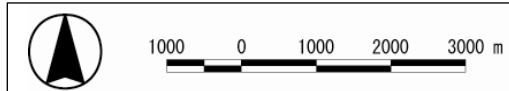
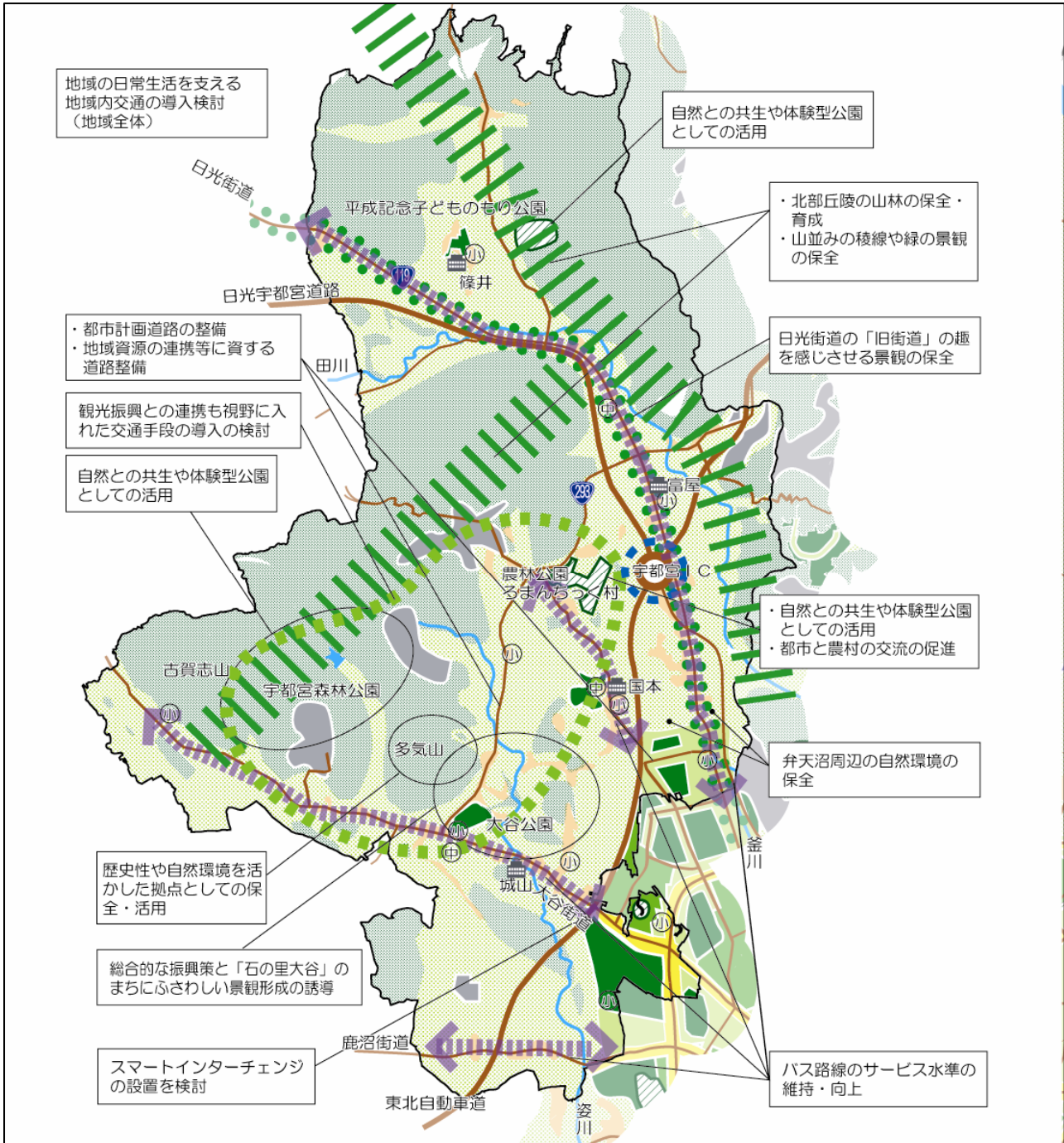
(3) 緑のネットワークの方針

- ・本市の緑の骨格である北部丘陵の山林は、多様な生物の生息地として、また、環境負荷の少ない都市の形成のため、その保全・育成を図ります。
- ・緑の骨格と一体となって本市の代表的な自然環境を形成している姿川・田川や地域全体に広がる田園を適正に保全します。
- ・釜川の水源となっている弁天沼周辺は、周辺の樹林地等も含めた一体的な自然環境の保全に努めます。
- ・多気山は、市指定文化財である社叢しゃそうなどの歴史性や自然環境を活かし、観光・交流拠点における資源として保全・活用に努めます。
- ・自然とのふれあい拠点である森林公園やろまんちっく村、平成記念子どものもり公園などは、自然との共生や体験型公園としての活用を図ります。

(4) その他のまちづくりの方針

- ・北部丘陵の山林がつくる山並みの稜線や緑の景観、また、日光街道など「旧街道」の趣を感じさせる景観については、その保全に努めます。
- ・大谷地区では、地区の振興、活性化を推進するための総合的な振興策を講ずるとともに、「石の里大谷」にふさわしい景観形成の誘導を図ります。
- ・ろまんちっく村を核として、遊休農地を活用した農業体験や農産物の直売など、点在する体験交流機会の有機的な連携により、都市と農村の交流を促進します。

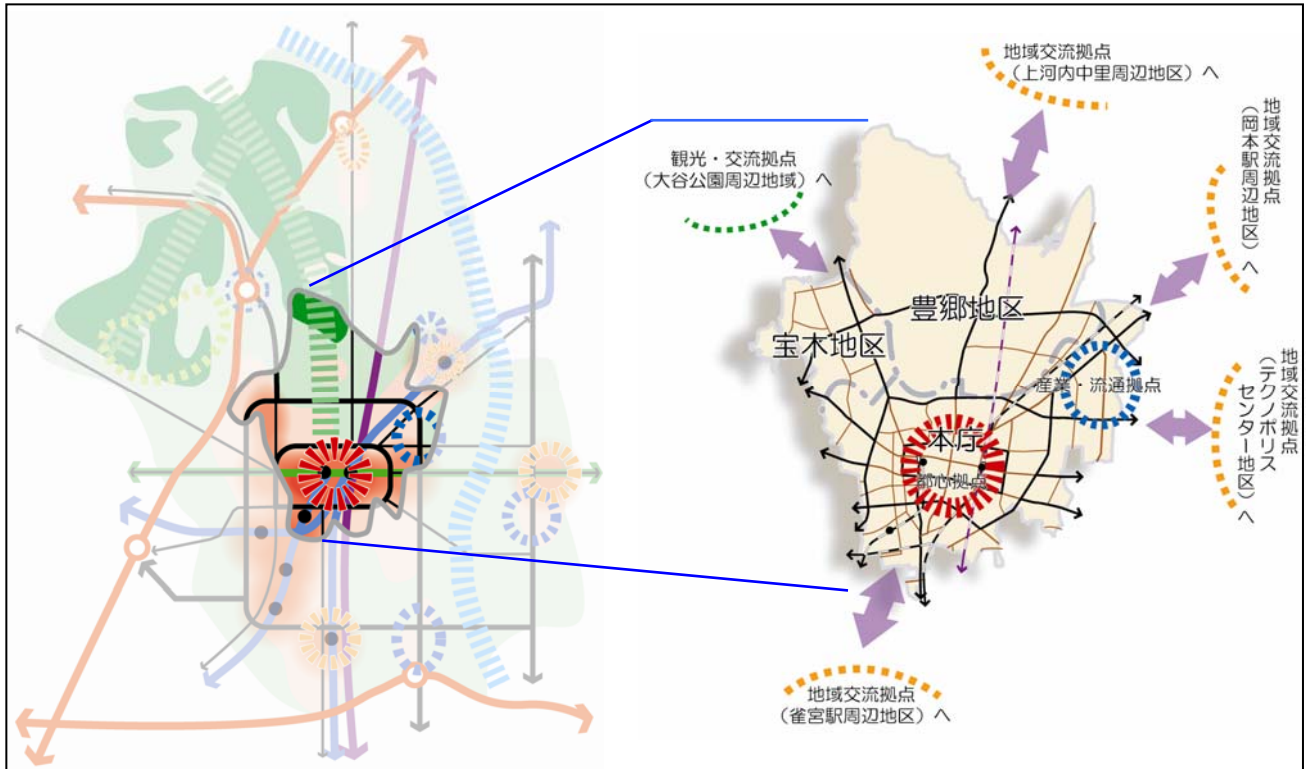
地域整備方針図



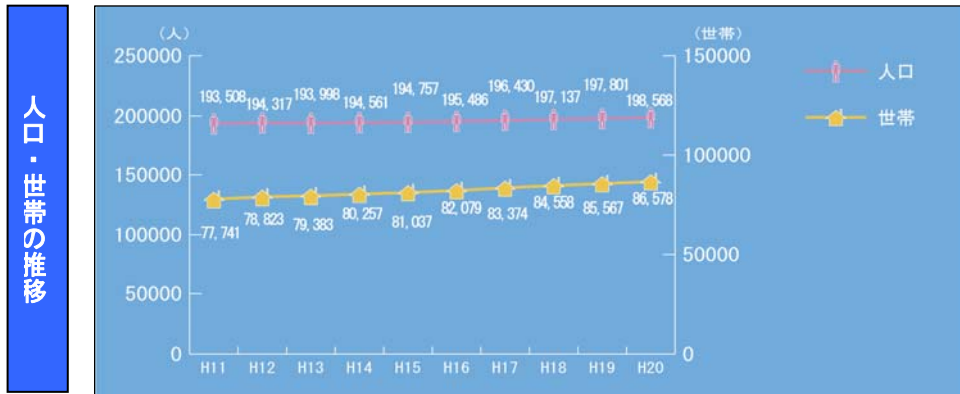
拠 点		軸・ネットワーク		土 地 利 用		主要施設	
	都心拠点		鉄道		都心商業業務地 都心業務地		産業流通地
	地域交流拠点		主要幹線		近隣商業地		農業地
	産業・流通拠点		補助幹線		低層住宅地		集落地
	産業・流通準拠点		地区内道路		一般住宅地		森林地
	観光・交流拠点		みどりの軸		複合住宅地		大規模公園・緑地
			清流軸		都心居住地		大規模施設
					沿道複合地		河川
	小学校		中学校		地区市民センター		

中央地域

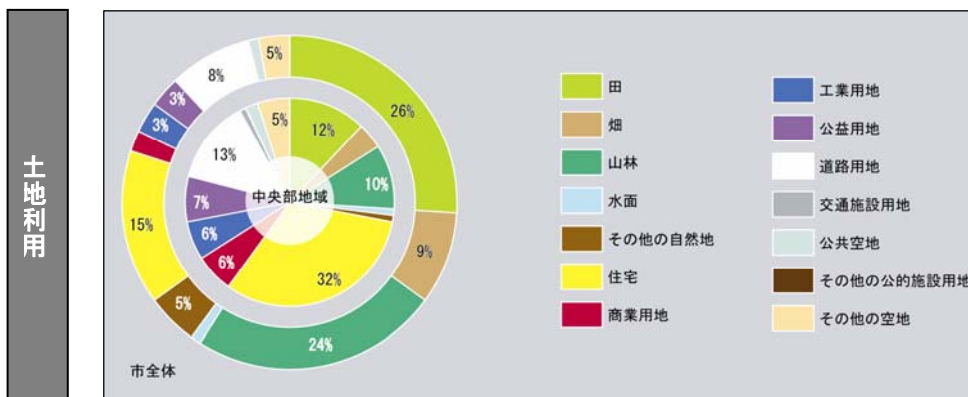
■将来都市構造における中央地域の位置



■主要データ



出典：住民基本台帳（各年9月末日現在の値）



出典：平成18年都市計画基礎調査

1. 現状と課題

- ・本地域は、栃木県の政治・行政・経済・文化の中心として、宇都宮を代表する都市機能や商業・業務機能が集積する都心地区とその周辺の住宅、田園地域です。
- ・地域の多くを市街地が占めており、都心地区では緑が少ない一方で、北部には丘陵地などの自然環境や田園空間が展開しています。特に、長岡周辺の丘陵地は、市街地に残る貴重な自然となっています。また、田川や釜川など良好な資源となる河川が貫流しています。
- ・中心市街地では、広域都市圏の中核となる地域として高度な都市機能の集積、強化のため、市街地再開発事業や広場の創出など継続的な取組を進めていますが、小売業販売額や居住人口の減少など活力、魅力の低下が課題となっています。
- ・都市基盤については、都心地区における戦災復興土地区画整理事業や駅東土地区画整理事業により道路等が整備されているほか、宇都宮大学周辺などの地区においても道路・公園等の公共施設の充実を図るため、土地区画整理事業を進めています。
- ・内環状線、都心環状線等の都市の骨格となる道路網が一部未整備であるほか、地域の幹線となる都市計画道路等の都市基盤の整備が課題となっています。

2. 地域整備の将来イメージ

「風格・魅力と高次な都市機能を備えた賑わいある都心づくり」

広域都市圏の中核都市としてふさわしい風格と魅力ある地域となるよう、商業・業務・文化等の高次な都市機能の集積を図るとともに、快適な居住環境の整備を推進し、賑わいと多様性のある都心の形成を図ります。

3. 地域整備の主要方針

(1) 中心市街地における賑わいの拠点と歩いて楽しい回遊空間づくり

中心市街地では、市街地再開発事業等を核とした商業・交流・居住等の充実を図るとともに、中心商店街での空き店舗対策、回遊性を高める公共交通の活性化、安全で快適な通行空間の確保等により、賑わいの拠点と歩いて楽しい回遊空間づくりを進めます。

(2) JR宇都宮駅周辺地区における交通結節機能の向上と合わせた広域交流拠点の形成

JR宇都宮駅周辺地区においては、駅西口地区での交通結節機能の強化や、駅東口地区での駅前広場や交流広場、歩行者デッキ等の基盤施設整備、東西基幹公共交通軸の形成などと合わせて、本市の玄関口にふさわしい土地の高度利用と景観形成を進め、広域的な商業・業務・生活・文化などの交流を促進する拠点形成を図ります。

(3) 公共交通の利便性や都市機能のストックを活かした都心居住の推進と都市基盤の充実

公共交通のさらなる利便性の向上や商業をはじめとした生活関連機能の充実など、居住環境の魅力を高めるとともに、住宅の賃貸等に対する支援や良好な集合住宅の供給促進により、都市機能のストックを活かした都心居住の推進を図ります。

さらに、小幡・清住地区における土地区画整理事業や都市計画道路の整備による都市基盤の充実に図り、安全で快適な居住環境を形成します。

(4) 水・緑や歴史文化資源を活かした個性とうるおいある都心・市街地空間の形成

水と緑の資源である田川・釜川を活かした散策空間の形成や、八幡山公園、宇都宮城址公園を活かした緑豊かな憩いの拠点づくり、市街地再開発事業等によるオープンスペースの創出、歴史文化資源や公園・広場を結ぶ街路の緑化、沿道景観の創出などにより、個性とうるおいのある都心空間の形成を図ります。

また、戸祭山緑地、長岡樹林地など市街地とその外延部に残る緑や丘陵地を適切に保全し、良好でゆとりある市街地空間の形成に努めます。

4. 分野別の地域整備方針

(1) 土地利用の方針

- ・都心拠点である中心市街地では、JR宇都宮駅や大通り周辺での土地の高度利用を図りながら、高次な都市機能の集積を誘導するとともに、都心環状線周辺での業務機能や都市型住宅等の立地を誘導します。また、東武南宇都宮駅周辺では、商業・業務・サービス機能等の集積とともに、中低層住宅の立地誘導など、複合的な土地利用を進め、地域の日常生活を支える商業地の形成を図ります。
- ・内環状線内側の住宅地は、比較的密度が高い中高層住宅等を誘導するとともに、良好な都心居住環境の形成を図ります。
- ・内環状線外側では、地域の特性に応じた多様な住宅地の形成を図ります。また、北部の丘陵地帯の住宅地は、自然環境と調和した良好な低層住宅地の形成を誘導します。
- ・産業・流通拠点である宇都宮工業団地は、周辺環境との調和に配慮しながら、良好な産業地としての生産環境を維持・強化します。
- ・市街地北部の田川流域に展開する農業地は、その維持・保全を図るとともに、良好な営農環境の維持に努め、集落地では、集落性や土地基盤整備の進捗など地域の状況を踏まえながら、生活道路など生活環境施設の充実を進め、定住環境の維持に努めます。
- ・また、北部の丘陵地帯の森林地は、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、身近に憩い、自然と触れ合うことができる空間として活用を図ります。

(2) 交通体系の整備方針

- ・都心部における交通渋滞の緩和など円滑な移動が図れるよう、本市の骨格道路である都心環状線・内環状線の4車線化や主要な放射状道路等の整備を推進するとともに、東西基幹公共交通を含めた公共交通ネットワークの整備を促進します。また、公共交通の定時性の確保や利用促進を図るため、公共車両優先システム(PTPS)の拡大を検討するとともに、モビリティマネジメント等の利用促進策を実施します。
- ・中心市街地では、歩行者の回遊性のため、安全・快適な歩行空間の整備を図るとともに、それを補完する手軽な公共交通として、都心循環バス(きぶな号)との連携強化を図ります。
- ・レンタサイクルシステムや自転車走行空間の整備など、自転車の利用・活用の促進を図ります。また、徒歩や自転車、公共交通による回遊性の向上を図るため、中心市街地周辺にFRINGEパーキングの整備を検討します。

(3) 緑のネットワークの方針

- ・北部丘陵から市街地に楔状に入り込む緑の軸であり、冷涼な空気を市街地につなぐ「風の道」としての役割を担う宇都宮丘陵においては、長岡公園、戸祭山緑地、八幡山公園等の適切な整備・保全を図るとともに、民有地の緑の保全、中心市街地の連続性のある緑化を図ります。
- ・戸祭山緑地や長岡公園は、身近な緑とのふれあい拠点として、市民協働による森づくりなどにより緑の保全・育成を図ります。
- ・宇都宮城址公園や八幡山公園は、中心市街地における貴重なオープンスペースであることを踏まえつつ、都市防災や歴史文化、広域的な交流の拠点として形成を図ります。
- ・中心市街地では、個性とうるおいのある都心空間の形成、魅力ある都市景観の形成のため、公共施設や民有地内の緑化を進めます。
- ・地域を貫く田川や釜川、御用川を活かした魅力ある緑のネットワークの形成を図ります。

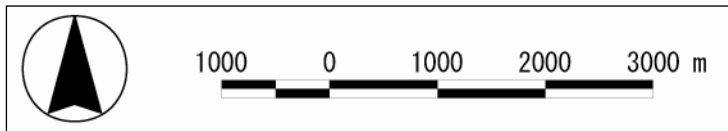
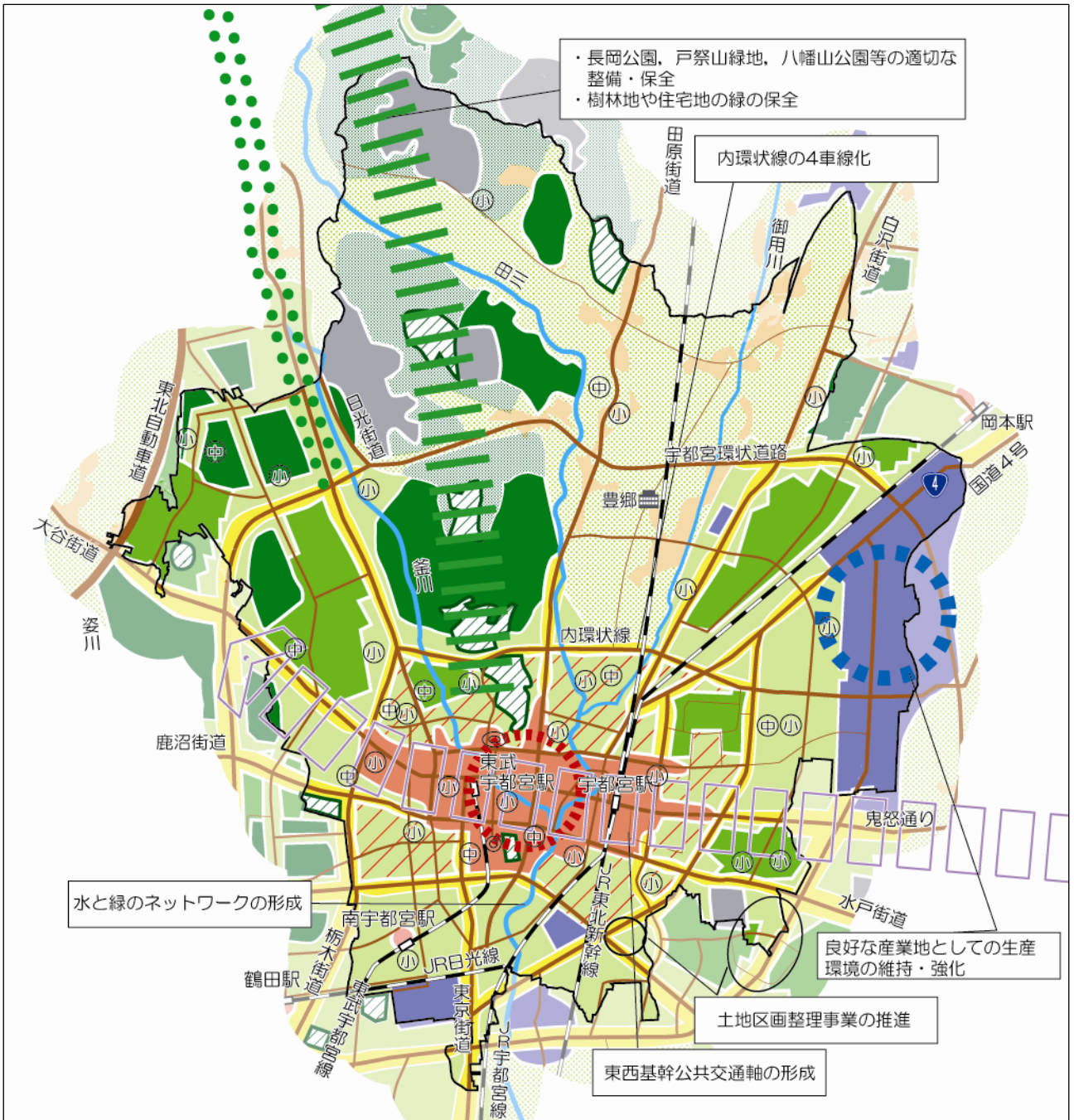
(4) 市街地整備の方針

- ・JR宇都宮駅西口地区では、市街地再開発事業等による都市機能の更新を推進するとともに、低未利用地の高度利用により、本市の玄関口にふさわしい広域交流機能の導入を検討します。
- ・JR宇都宮駅東口地区では、駅前広場や交流広場、歩行者デッキ等の基盤施設整備を進めるとともに、本市の拠点性を高める拠点施設整備を推進します。
- ・大通りを中心とする中心商店街周辺は、市街地再開発事業等による都市機能の更新を推進するとともに、土地の高度利用と合わせたオープンスペースの創出を図ります。
- ・都心地区において低層密集市街地や低未利用地等が残されている小幡・清住地区では、土地区画整理事業などにより、良好な住宅地整備を促進します。また、宇都宮大学東南部地区における土地区画整理事業の推進などにより、安全・安心で快適な居住環境の形成を図ります。

(5) その他のまちづくりの方針

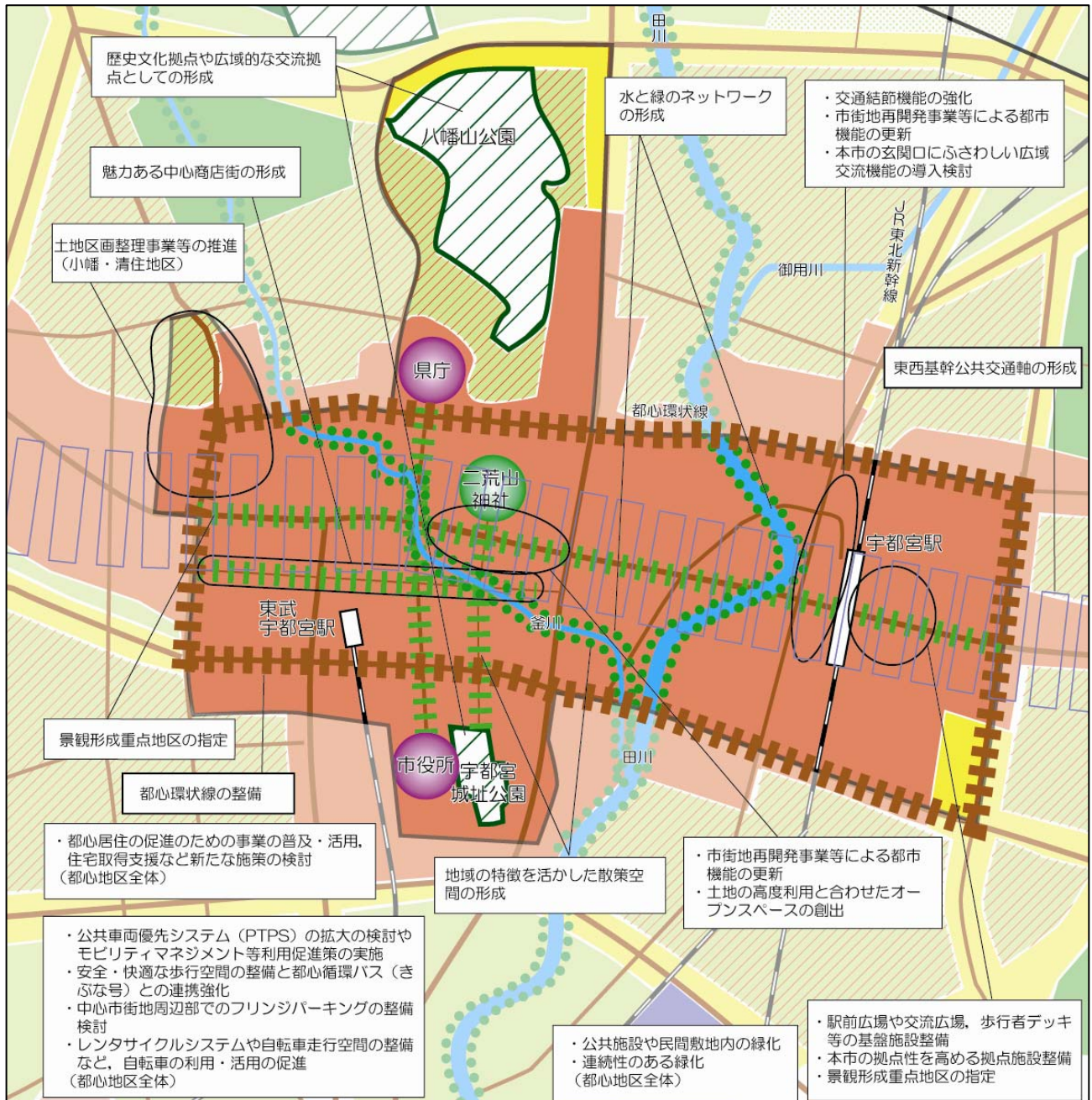
- ・中心商店街では、空き店舗への出店や商店街の魅力向上に対する支援、ベンチ等休憩施設の設置によるアメニティの向上などにより、魅力と賑わいある空間の形成を図ります。また、釜川プロムナードの活用や二荒山神社と宇都宮城址公園を結ぶ歴史軸の形成など、地域の特徴を活かした散策空間の形成を図ります。
- ・魅力ある都心景観の形成を図るため、宇都宮駅東口地区や大通り地区での景観形成重点地区の指定により、商店街のまちなみ、広告物の形態・色彩等の誘導を進めます。また、道路景観の整備やライトアップ等による空間演出を行います。
- ・都心居住促進のための事業の普及・活用に努めるとともに、住宅取得支援など新たな施策の検討を行います。

地域整備方針図



拠点		軸・ネットワーク		土地利用		主要施設	
	都心拠点		鉄道		都心商業業務地 都心業務地		産業流通地
	地域交流拠点		主要幹線		近隣商業地		農業地
	産業・流通拠点		補助幹線		低層住宅地		集落地
	産業・流通準拠点		地区内道路		一般住宅地		森林地
	観光・交流拠点		みどりの軸		複合住宅地		大規模公園・緑地
			清流軸		都心居住地		大規模施設
					沿道複合地		河川
							小学校
							中学校
							地区センター
							市役所
							県庁

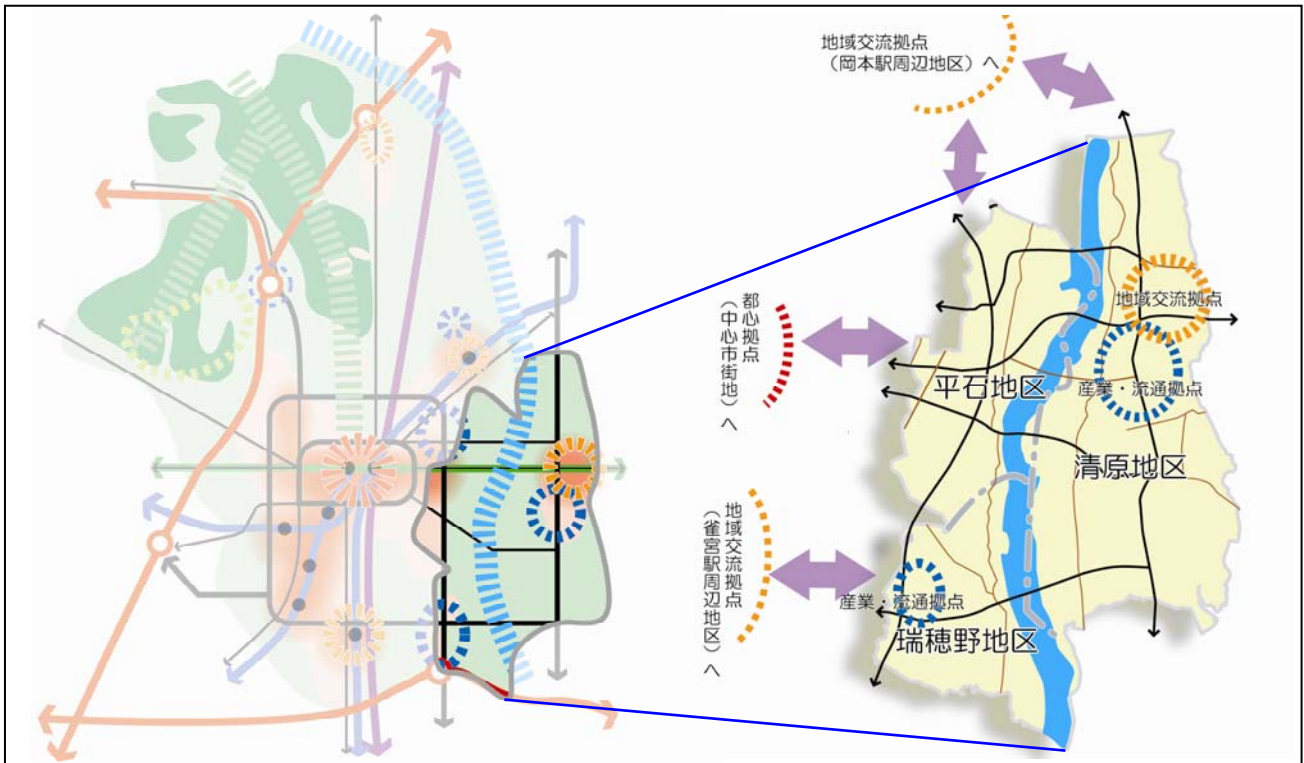
地域整備方針図(都心地区)



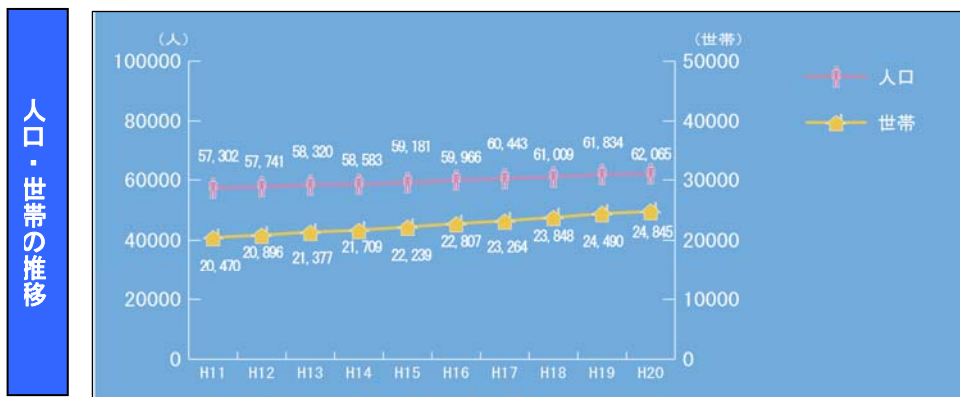
軸・ネットワーク		土地利用			
	鉄道		都心商業業務地 都心業務地		産業流通地
	主要幹線		近隣商業地		農業地
	補助幹線		低層住宅地		集落地
	地区内道路		一般住宅地		森林地
	都心環状線		複合住宅地		大規模公園・緑地
	みどりの軸		都心居住地		大規模施設
			沿道複合地		河川

東部地域

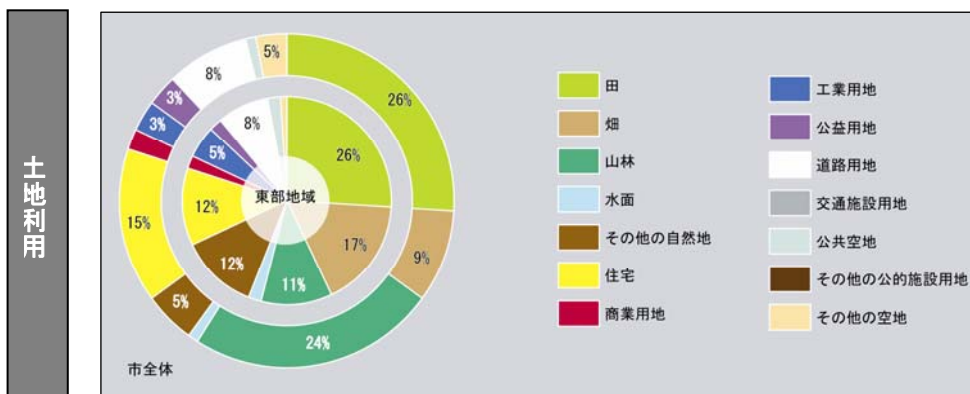
■将来都市構造における東部地域の位置



■主要データ



出典：住民基本台帳（各年9月末日現在の値）



出典：平成18年都市計画基礎調査

1. 現状と課題

- ・本地域は、鬼怒川流域の農業地域であり、肥沃な土地と豊かな水資源に恵まれた水田地帯が展開しています。また、鬼怒川左岸台地の畑作地帯では、野菜・果樹などの園芸農業も盛んです。
- ・これら自然的土地利用が多くを占めているとともに、清流軸である鬼怒川が貫流しており、身近に自然とふれあうことができる地域となっています。
- ・内陸型工業団地として我が国最大規模の清原工業団地が整備されているほか、工業団地に近接して住宅地域があり、宇都宮テクノポリスの中核拠点であるテクノポリスセンター地区においては、土地区画整理事業により産業機能と居住機能、生活利便施設が複合したまちづくりが進められていますが、今後は、地域の拠点としての都市機能の充実が求められます。
- ・地域の道路網については、宇都宮テクノ街道の一部開通をはじめ、鬼怒テクノ通りやみずほの通りの整備などを進めているところですが、工業団地周辺を中心に朝夕の慢性的な渋滞が発生しており、その解消が課題となっています。
- ・公共交通は、清原地区において市内初の地域内交通が導入されていますが、サービス圏域の拡大や新たな地域への展開に向けた取り組みとともに、都心地区とを結ぶ基幹となる公共交通の充実が求められています。

2. 地域整備の将来イメージ

「自然・水・産業が共存した活力と魅力あふれる都市環境づくり」

鬼怒川の適切な保全・活用や田園環境の維持に努めるとともに、その豊かな自然と産・学・住・遊の機能が融和した新たな都市の形成を図ります。

3. 地域整備の主要方針

(1) 地域発展の核となるテクノポリスセンター地区における良好な新市街地の形成

テクノポリスセンター地区は、鬼怒左岸地域の発展の核として、地域の生活を支える多様な都市機能の集積とともに、周辺に展開する工業団地の職住近接や郊外居住ニーズの受け皿となるゆとりと質の高い生活空間を備えた良好な新市街地の形成を図ります。

(2) 本市の産業活動をけん引する産業拠点の形成

テクノポリスセンター地区では、産業支援機能を活かしつつ、先端・高度技術産業、研究開発型企業の誘致など新しい産業拠点の形成を図ります。また、清原工業団地、瑞穂野工業団地は、周辺環境との調和に配慮しながら、その機能の維持・強化を図ります。

(3) 東西方向及び地域内の交通ネットワークの強化

都心地区とを連絡する東西基幹公共交通軸の形成とともに、地域内交通の充実と合わせ公共交通の連携を強化することにより、交通ネットワークの充実を図ります。

(4) 鬼怒川と周辺自然環境の保全・活用

清流軸である鬼怒川と周辺の農業地の豊かな自然環境を保全するとともに、鬼怒川の広大な水辺空間を活かした市民の憩いと安らぎの場として活用を図ります。

4. 分野別の地域整備方針

(1) 土地利用の方針

- ・地域交流拠点であるテクノポリスセンター地区では、商業系用地における商業・業務・サービス機能等の立地誘導など地域の日常生活を支える商業地の形成や、業務系用地における「とちぎ産業創造プラザ」を中心とした先端的な研究・開発・生産機能の立地誘導を図りながら、戸建住宅を中心としたゆとりある住宅地などの生活空間との調和を図ります。
- ・産業・流通拠点である清原工業団地、瑞穂野工業団地は、良好な産業地としての生産環境を維持・強化します。
- ・地域西部の市街地や清原台においては、戸建住宅や集合住宅等が調和した住宅地の形成を図ります。また、集落地では、集落性や土地基盤整備の進捗など地域の状況を踏まえながら、生活道路など生活環境施設の充実を進め、定住環境の維持に努めます。
- ・鬼怒川流域の水田地帯や畑作地帯は、農業地としての維持・保全を図るとともに、良好な営農環境の維持に努めます。また、地域の特徴である谷戸や段丘の斜面緑地、平地林などの良好な自然環境を保全します。

(2) 交通体系の整備方針

- ・広域的な地域連携や産業交流の促進、交通渋滞の解消に向けた道路ネットワーク強化のため、都市計画道路等の広域幹線道路の整備を推進します。
- ・都心地区をはじめとした各拠点・地域との連携強化のため、東西方向の基幹公共交通の導入を図ります。また、基幹的・幹線的な公共交通を補完する地域内交通は、維持・充実を図ります。

(3) 緑のネットワークの方針

- ・鬼怒川は、緑のネットワークの軸として、保全を図ります。良好な河川環境の維持・保全に努めるとともに、周辺環境との調和を図りながら、サイクリングロードや公園・緑地などスポーツ・レクリエーションの場、市民の憩いの場としての活用や機能の充実を図ります。
- ・みずほの自然の森公園や鬼怒川緑地運動公園、飛山城跡など大規模公園や緑の拠点の活用を図ります。
- ・ふるさとの原風景ともいえる緑豊かな景観を形成する鬼怒川流域の水田地帯や屋敷林の保全に努めます。
- ・テクノポリスセンター地区や清原工業団地において、快適な都市環境の維持やうるおいある景観形成のため、緑化を推進します。

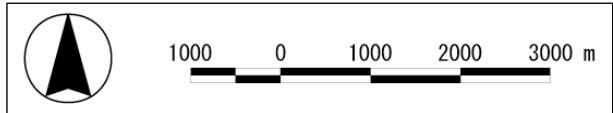
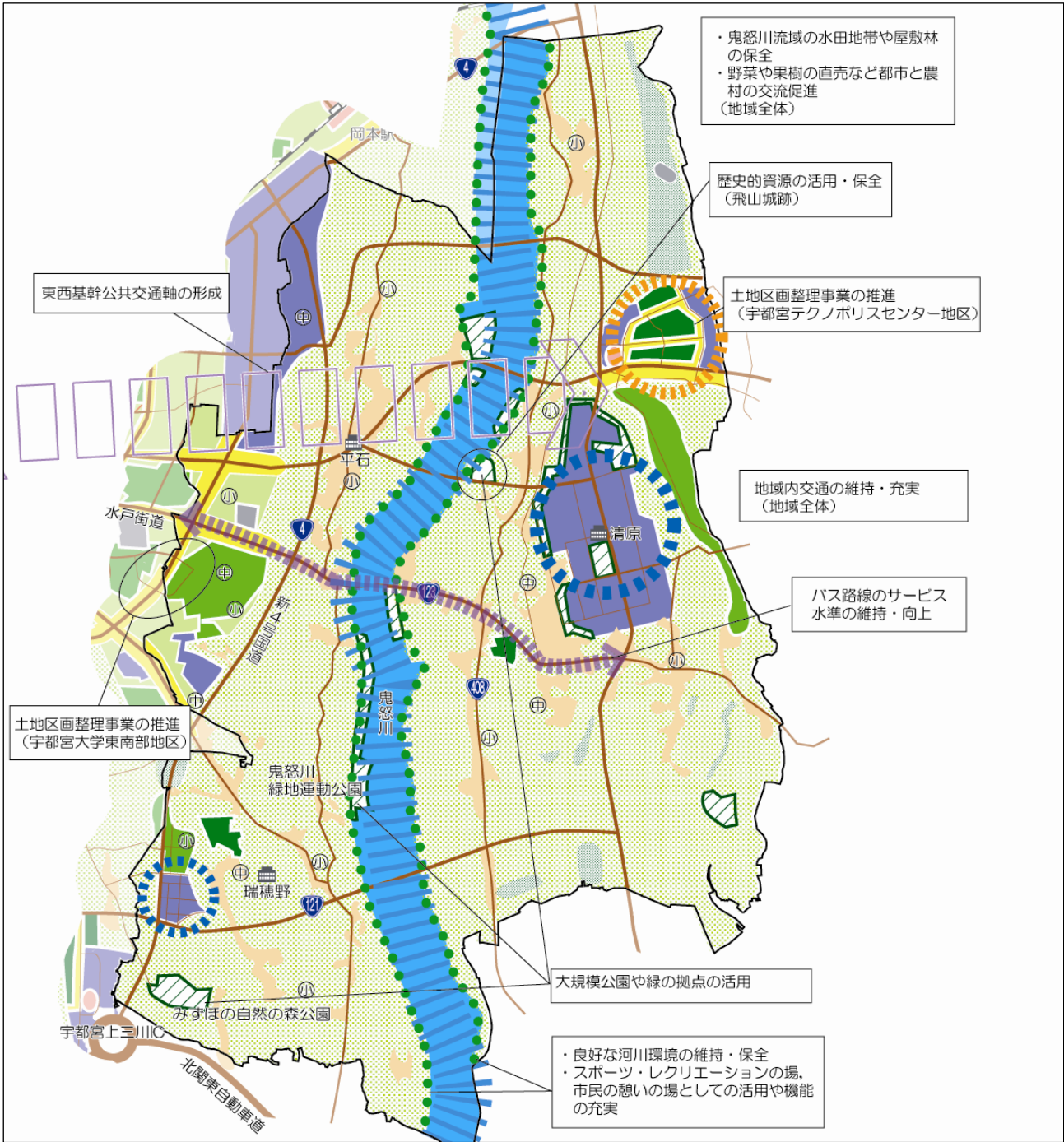
(4) 市街地整備の方針

- ・テクノポリスセンター地区は、土地区画整理事業や地区計画等により、歩行者に配慮した道路整備や自然環境に配慮した公園整備など、高水準な都市基盤の整備と合わせて、ゆとりある居住環境の形成、商業・業務・サービス機能等の生活利便性を高める機能集積を促進するとともに、産業ニーズに対応するため研究開発機能などの誘導を図ります。
- ・宇都宮大学東南部地区における土地区画整理事業等の推進などにより、安全・安心で快適な居住環境の形成を図ります。

(5) その他のまちづくりの方針

- ・飛山城跡など歴史的資源の保全・活用を図ります。
- ・園芸農業を活かし、野菜や果樹の直売など都市と農村の交流を促進します。

地域整備方針図



拠点		軸・ネットワーク		土地利用		主要施設	
	都心拠点		鉄道		都心商業業務地 都心業務地		産業流通地
	地域交流拠点		主要幹線		近隣商業地		農業地
	産業・流通拠点		補助幹線		低層住宅地		集落地
	産業・流通準拠点		地区内道路		一般住宅地		森林地
	観光・交流拠点		みどりの軸		複合住宅地		大規模公園・緑地
			清流軸		都心居住地		大規模施設
					沿道複合地		河川
	小学校						
	中学校						
	地区市民センター						